

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 38 週（9 月 16 日～9 月 22 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人	類型	患者 2 人、 無症状病原体保有者 1 人
		血清型	O157 1 人、不明 2 人
四類感染症 E 型肝炎	2 人	推定感染地域	国内 1 人、不明 1 人
レジオネラ症	5 人	病型	肺炎型 5 人
五類感染症 ウイルス性肝炎	3 人	病型	B 型 3 人
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4 人	菌種	<i>Escherichia</i> sp. 2 人、 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人		
梅毒	7 人	病型	早期顕症Ⅱ期 4 人、 無症状病原体保有者 3 人
百日咳	4 人	年齢階級	0 歳 1 人、5 歳 1 人、 10 歳代 1 人、40 歳代 1 人

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症(6. 92→5. 49: 図 1-1, 2, 3)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少した。保健所別では、幸手(9. 50)保健所管内からの報告が最も多い。年齢階級別では、前週に引き続き 10 歳代の占める割合が多い。基幹定点における入院患者の報告は 31 人(前週 46 人)であり、年齢階級別では、65 歳以上が全体の約 84%となっている。手足口病(9. 27→8. 76: 図 2-1, 2)の定点当たり報告数は、前週と同水準で多い状況にある。保健所別では、南部(13. 00)、川口市(12. 38)からの報告が多く、本庄(6. 50→12. 00)保健所管内で大きく増加した。伝染性紅斑(0. 48→0. 38)の定点当たり報告数は、前週と同水準であったが、保健所別では引き続き南部(4. 40)保健所管内からの報告が特に多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 24 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 30 人(前週 46 人)の報告があった。マイコプラズマ肺炎(図 3)の報告数は、前週と比較して減少したが、多い状況が続いている。好発年齢を年齢 3 歳階級別でみると、小学校低学年にあたる 6～8 歳が 9 人と最も多く、14 歳以下の患者が全体の約 87%となっている。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/nid/ja/from-idsch.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第38週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

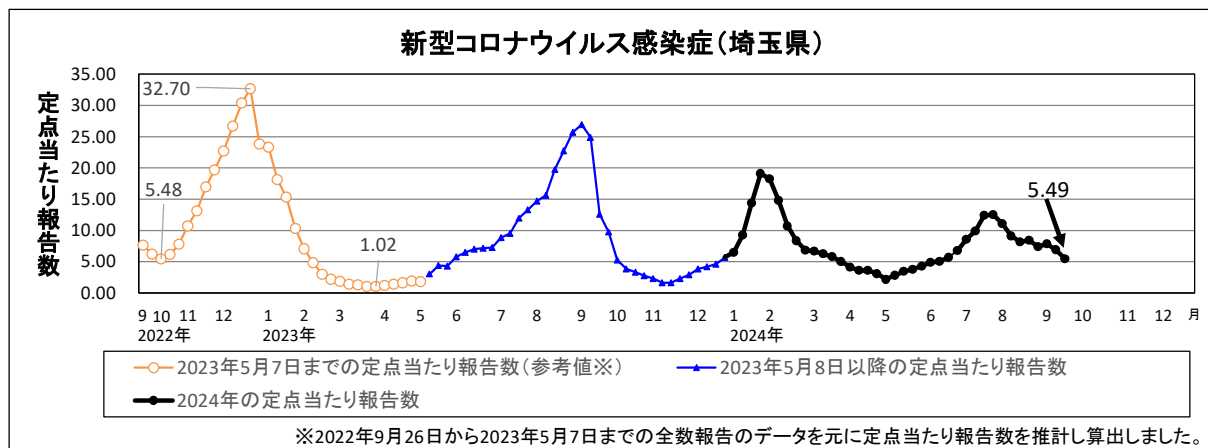


図1-2 新型コロナウイルス感染症の保健所別流行状況の推移（2024年第36週～第38週）

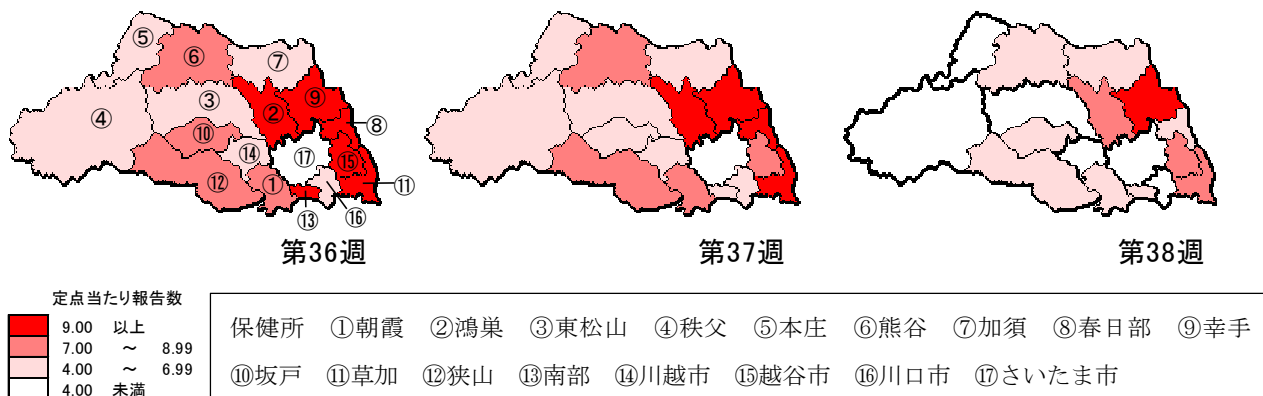
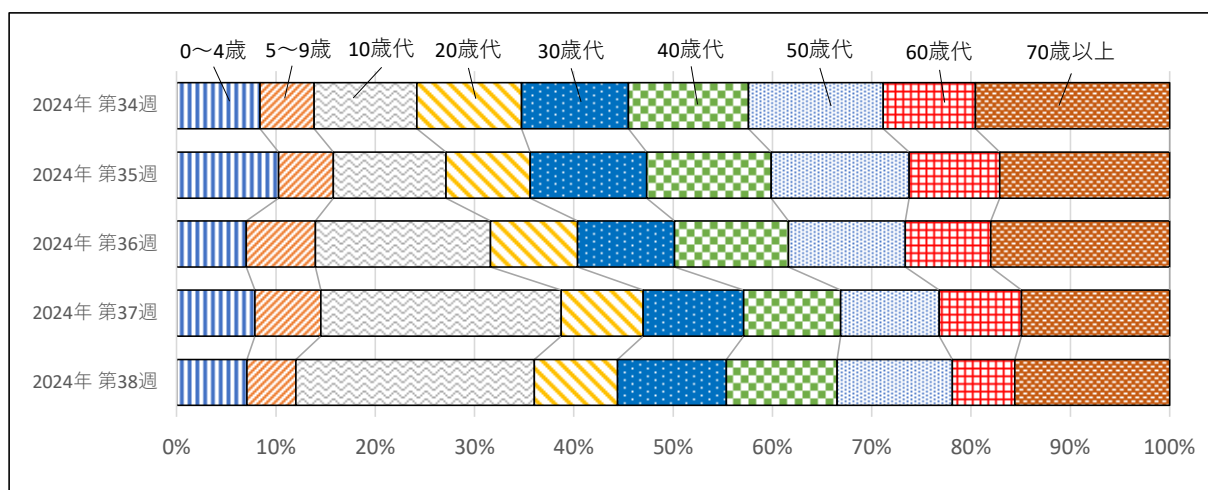


図1-3 新型コロナウイルス感染症の年齢階級別報告割合の推移（2024年第34週～第38週）



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第38週)

(2024年9月24日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		1	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	122			
四類感染症					
E型肝炎	2	31	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	5	88
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		10	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		17	侵襲性肺炎球菌感染症	1	69
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	3	11	水痘(入院例に限る)		2
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	76	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	7	320
急性脳炎		19	播種性クリプトコックス症		7
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		94	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		23	百日咳	4	80
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		17	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第38週

9月16日~9月22日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数	139	1,416	44	63	357	511	29	1,419	61	55	106	8	2	24	-	1	30	-	-	-	31
	定点当たり	0.54	5.49	0.27	0.39	2.20	3.15	0.18	8.76	0.38	0.34	0.65	0.05	0.05	0.57	-	0.08	2.50	-	-	-	2.58
朝 霞	報告数	19	138	4	-	29	44	2	161	6	3	13	-	-	2	-	-	8	-	-	-	4
	定点当たり	0.83	6.00	0.27	-	1.93	2.93	0.13	10.73	0.40	0.20	0.87	-	-	0.50	-	-	8.00	-	-	-	4.00
鴻 巣	報告数	8	160	2	5	39	30	4	136	2	3	5	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.42	8.42	0.17	0.42	3.25	2.50	0.33	11.33	0.17	0.25	0.42	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	2	24	-	-	9	28	-	20	2	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.25	3.00	-	-	1.80	5.60	-	4.00	0.40	0.60	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数	-	17	-	1	5	-	2	13	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	3.40	-	0.33	1.67	-	0.67	4.33	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	8	16	1	-	1	-	-	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	1.33	2.67	0.33	-	0.33	-	-	12.00	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数	11	71	-	-	19	21	-	72	-	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.85	5.46	-	-	2.38	2.63	-	9.00	-	0.50	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
加 須	報告数	1	48	2	1	2	-	-	27	-	-	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.10	4.80	0.33	0.17	0.33	-	-	4.50	-	-	0.50	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	2.00
春 日 部	報告数	6	62	1	1	9	7	1	20	-	-	10	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.67	6.89	0.17	0.17	1.50	1.17	0.17	3.33	-	-	1.67	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	31	133	7	17	43	9	2	57	1	-	5	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.21	9.50	0.78	1.89	4.78	1.00	0.22	6.33	0.11	-	0.56	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	3	46	1	-	12	31	-	33	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.30	4.60	0.17	-	2.00	5.17	-	5.50	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
草 加	報告数	21	148	1	-	22	42	5	49	2	4	3	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.11	7.79	0.08	-	1.83	3.50	0.42	4.08	0.17	0.33	0.25	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	7	166	5	12	58	35	1	144	1	4	7	1	2	5	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.28	6.64	0.31	0.75	3.63	2.19	0.06	9.00	0.06	0.25	0.44	0.06	0.40	1.00	-	-	-	-	-	-	2.00
南 部	報告数	5	49	11	2	25	44	-	65	22	2	18	-	-	-	-	-	7	-	-	-	5
	定点当たり	0.63	6.13	2.20	0.40	5.00	8.80	-	13.00	4.40	0.40	3.60	-	-	-	-	-	7.00	-	-	-	5.00
川 越 市	報告数	2	40	-	15	17	11	4	74	-	5	2	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.15	3.08	-	2.14	2.43	1.57	0.57	10.57	-	0.71	0.29	0.14	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	6	105	-	2	17	37	3	44	2	3	2	-	-	-	-	1	5	-	-	-	2
	定点当たり	0.46	8.08	-	0.25	2.13	4.63	0.38	5.50	0.25	0.38	0.25	-	-	-	-	1.00	5.00	-	-	-	2.00
川 口 市	報告数	1	73	3	3	21	62	1	161	9	5	11	1	-	1	-	-	3	-	-	-	3
	定点当たり	0.05	3.65	0.23	0.23	1.62	4.77	0.08	12.38	0.69	0.38	0.85	0.08	-	0.25	-	-	3.00	-	-	-	3.00
さいたま市	報告数	8	120	6	4	29	110	4	307	14	18	15	-	-	13	-	-	7	-	-	-	4
	定点当たり	0.19	2.79	0.21	0.14	1.04	3.93	0.14	10.96	0.50	0.64	0.54	-	-	1.44	-	-	7.00	-	-	-	4.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第38週 9月16日～9月22日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	139	-	3	6	6	4	4	5	7	10	8	4	21	12	11	11	9	10	2	2	4	
新型コロナウイルス感染症	1,416	15	22	30	16	10	7	15	11	16	14	14	189	151	119	155	158	164	89	138	83	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	44	4	10	16	9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	63	-	1	15	9	4	14	11	3	3	3	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	357	1	2	9	16	22	35	31	46	36	39	23	66	9	22							
感染性胃腸炎	511	6	35	65	47	44	46	39	41	30	30	31	68	4	25							
水痘	29	-	-	1	3	3	4	4	1	4	-	3	6	-	-							
手足口病	1,419	10	76	251	224	203	206	170	105	60	29	35	31	3	16							
伝染性紅斑	61	-	-	1	4	11	14	11	5	5	6	2	2	-	-							
突発性発しん	55	-	11	32	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	106	3	6	17	15	21	15	13	4	4	4	3	-	-	1							
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	-	-	5	-	1	1	-	1	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	24	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	4	4	3	4	2	-	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	30	-	7	13	6	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
新型コロナウイルス感染症(入院)	31	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	1	25					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第36週 (9月2日～9月8日)

令和6年9月25日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.18)、京都府(0.70)、福井県(0.67)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は46例と前週と比較して増加した。都道府県別では15都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(13例)、10代(2例)、20代(2例)、30代(1例)、50代(4例)、60代(4例)、70代(7例)、80歳以上(11例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(13.71)、岩手県(13.43)、青森県(12.74)、山形県(12.74)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,459例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(68例)、1～9歳(64例)、10代(29例)、20代(23例)、30代(33例)、40代(54例)、50代(132例)、60代(249例)、70代(626例)、80歳以上(1,181例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(4.04)、新潟県(1.95)、福島県(1.73)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(0.98)、鹿児島県(0.76)、大分県(0.67)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.16)、茨城県(4.92)、宮崎県(4.36)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は茨城県(7.28)、福井県(6.12)、島根県(4.55)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(17.45)、滋賀県(11.28)、宮城県(11.25)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は神奈川県(0.72)、東京都(0.64)、青森県(0.59)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(3.18)、宮崎県(2.75)、北海道(2.45)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は埼玉県(0.12)、山形県(0.11)、岐阜県(0.11)、千葉県(0.10)である。

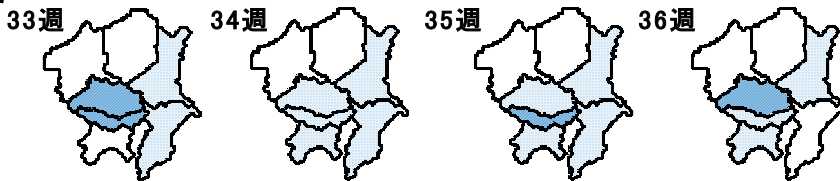
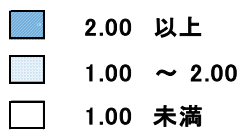
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は兵庫県(3.21)、埼玉県(2.58)、福井県(2.50)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。2都道府県から2例報告があり、年齢別では0歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第36週(9月2日～9月8日):通巻第26巻 第36号 より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(2.58)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎



2024年 36週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	2,220	694	37	5	9	161	66	208	208
	定点当たり	0.45	0.46	0.31	0.07	0.11	0.62	0.33	0.50	0.58
新型コロナウイルス感染症	報告数	32,443	10,477	1,124	695	592	2,043	1,758	2,011	2,254
	定点当たり	6.57	6.89	9.37	9.27	6.96	7.86	8.75	4.80	6.24
RSウイルス感染症	報告数	2,167	320	25	40	24	53	30	69	79
	定点当たり	0.69	0.34	0.33	0.85	0.45	0.33	0.24	0.26	0.34
咽頭結膜熱	報告数	915	280	25	6	52	55	42	53	47
	定点当たり	0.29	0.29	0.33	0.13	0.98	0.34	0.34	0.20	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,914	1,985	369	61	89	346	324	451	345
	定点当たり	1.89	2.08	4.92	1.30	1.68	2.12	2.61	1.71	1.51
感染性胃腸炎	報告数	8,989	2,968	220	61	221	606	458	839	563
	定点当たり	2.87	3.11	2.93	1.30	4.17	3.72	3.69	3.18	2.46
水痘	報告数	445	135	12	1	3	12	20	32	55
	定点当たり	0.14	0.14	0.16	0.02	0.06	0.07	0.16	0.12	0.24
手足口病	報告数	22,485	7,101	269	241	289	1,257	809	2,033	2,203
	定点当たり	7.17	7.44	3.59	5.13	5.45	7.71	6.52	7.70	9.62
伝染性紅斑	報告数	554	456	6	6	8	48	52	170	166
	定点当たり	0.18	0.48	0.08	0.13	0.15	0.29	0.42	0.64	0.72
突発性発しん	報告数	979	337	19	21	25	57	35	99	81
	定点当たり	0.31	0.35	0.25	0.45	0.47	0.35	0.28	0.38	0.35
ヘルパンギーナ	報告数	2,537	839	59	15	80	137	131	222	195
	定点当たり	0.81	0.88	0.79	0.32	1.51	0.84	1.06	0.84	0.85
流行性耳下腺炎	報告数	136	67	4	4	3	19	12	16	9
	定点当たり	0.04	0.07	0.05	0.09	0.06	0.12	0.10	0.06	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	12	5	-	-	-	2	1	-	2
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.05	0.03	-	0.04
流行性角結膜炎	報告数	310	158	22	1	4	43	20	14	54
	定点当たり	0.44	0.76	1.29	0.08	0.29	1.05	0.57	0.36	1.08
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	30	11	1	-	-	1	1	7	1
	定点当たり	0.06	0.13	0.08	-	-	0.08	0.11	0.28	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	585	115	21	2	6	31	8	32	15
	定点当たり	1.22	1.32	1.62	0.29	0.67	2.58	0.89	1.28	1.25
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	0.08	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、*Mycoplasma pneumoniae* に感染することによって起こります。感染すると、発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛などの症状がみられ、それに遅れて咳が始まります。咳は熱が下がった後も長く(3~4週間)続くのが特徴です。感染した人の多くは気管支炎で済み、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎を起こし、重症化することもあります。

マイコプラズマ肺炎は感染症法で 5 類感染症に位置づけられ、県内 12 か所の基幹定点医療機関(小児科及び内科医療を提供する 300 床以上の病院)から報告を受ける定点把握対象疾患の一つです。図 1 に、マイコプラズマ肺炎の 2008 年以降の定点当たり報告数の推移を示しました。新型コロナウイルスがまん延した 2020 年第 18 週以降、定点当たり報告数は 0.00 から 0.25 (報告数 0~3 人) で推移していましたが、2024 年第 23 週(6/3-6/9)以降、増加傾向にあります。第 37 週(9/9-9/15)には定点当たり報告数 3.83 (46 人) となり、過去 10 年(2014-2023)と比較すると最も大きな流行規模となっています。統計のある 1999 年以降での定点当たり報告数の最大値は 2010 年の 5.22 で、2024 年は第 37 週時点ですでに過去 4 番目の定点当たり報告数となっています。



図 1 マイコプラズマ肺炎定点当たり報告数の推移 (2008 年第 1 週~2024 年第 38 週)

2024 年第 21 週以降の埼玉県内の報告患者の年齢階級別推移は、図 2 のとおりです。週によって多少のばらつきはありますが、6~8 歳、9~11 歳の報告が多く、他の文献報告に見られるマイコプラズマ肺炎の好発年齢とも一致しています。感染経路は感染者の鼻腔や咽頭からの分泌物による飛沫・接触感染ですが、多くは家庭内や学校などにおける濃厚接触によると考えられています。肺炎と診断された場合に基幹定点医療機関から報告される制度となっており、マイコプラズマに感染しただけでは届出の対象とならず報告はされません。このため、実際にマイコプラズマに感染した人の数は肺炎として届出されている報告数よりも多いことが予想されます。年間を通じて報告が見られる疾患ですが、秋冬に増加する傾向があり、今後の発生動向には注意が必要です。

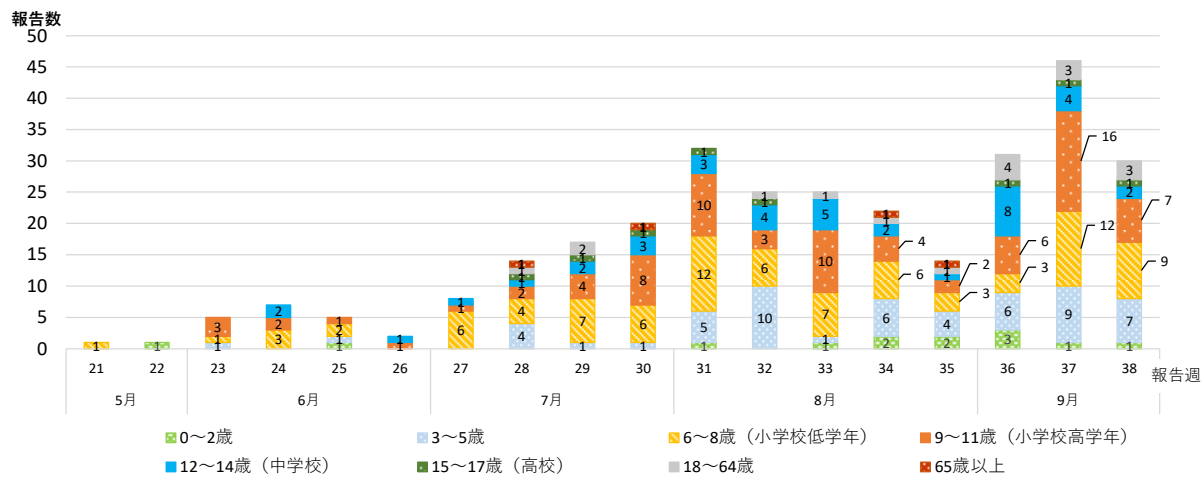


図2 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移（年齢3歳階級別・埼玉県・2024年）

なお、マイコプラズマ肺炎の全国の情報国立感染症研究所の以下のページに掲載されています。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/mycoplasma-pneumonia-m/mycoplasma-pneumonia-idwrc/12871-idwrc-2435.html>

感染症発生動向調査
2024年

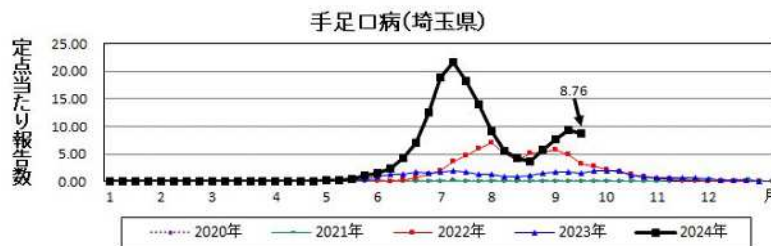
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第38週

2024年第38週（9月16日～9月22日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週と同水準で多い状況にあります。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	→	★★★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発疹	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	↓	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

